

#4 主の妻である召会に対する主のねたみ

(民数記結晶の学び) 2019/3/18-24

I. もし私たちが聖書の深遠な思想の中へと入るなら、最も純粋で、最も聖なる意味で、聖書はロマンスであることを認識します:

A. この夫婦の男のほうは、神ご自身です。神はこの宇宙的な夫婦の男のほうとなることを願っています。

イザヤ54:5-6 「あなたの造り主はあなたの夫であり、万軍のエホバが彼の御名だからである。イスラエルの聖なる方はあなたの贖い主であり、全地の神と呼ばれる。捨てられて霊に悲しみのある妻を召すように、また、若い時に出された妻を召すように、エホバはあなたを召されたからである」と、あなたの神は言われる。

B. この夫婦の女のほうは、選ばれ贖われた団体の人であり、旧約と新約のすべての聖徒を含んでいます。

C. 何世紀にもわたって、神は人とロマンスを持ってきました。こういうわけで、聖書は、神がどのようにして彼の選ばれた人に求愛して、最終的に彼らと結婚するかについての記録です:**1.** この結合において、神は彼の民の命であり、彼らは彼の表現です。このようにして、神と彼の選びの民は宇宙的な夫婦となります:**a.** 私たちは神の民として、神との愛の関係の中へと入るとき、彼の命を受けます。それはエバがアダムの命を受けたようにです。

b. この命が私たちが神と一にならせ、彼を私たちと一にならせることができます。**2.** 私たちは、私たちの夫としての主を愛し、こうして彼の命と性質にあずかることによって、彼と一になり、彼の配偶者、拡大、表現となります。

D. 神はイスラエルを選んで彼の配偶者としてしました。予表において、旧約のある女たちは、召会がキリストの配偶者であることを啓示しています: **【月】**

1. キリストの配偶者としての召会は、アダムの配偶者としてのエバによって予表されます。エバがアダムから出て来たことは、召会がキリストから出て来て、キリストの命と性質を持っていることを予表します。

創2:21 そこで、エホバ・神が、その人を深い眠りに陥らせられたので、彼は眠った。そして彼のあばら骨の一つを取って、その場所を肉でふさがれた。**22** こうして、エホバ・神は、その人から取ったあばら骨を一人の女に建造し、彼女をその人の所に連れて来られた。

23 すると、その人は言った、「今度こそ、これが私の骨の骨、私の肉の肉である。この者を『女』と呼ぶことにしよう。それは、この者が『男』から取り出されたからである」。**24** それゆえに、人はその父母を離れて、その妻と結び合い、彼ら二人は一つの肉体となるのである。

2. リベカは、キリストの配偶者としての召会が、この世から選ばれていることを予表します。**創24:67** イサクは彼女を、母サラの天幕に迎え入れた。彼はリベカをめとり、彼女は彼の妻となり、彼は彼女を愛した。こうしてイサクは母が死んだ後、慰められた。**3.** ルツは、キリストの配偶者としての召会が、贖われていることを予表します。

ルツ4:13 こうして、ボアズはルツをめとり、彼女は彼の妻となった。彼は彼女の所に入り、エホバは彼女を身ごもらせた。彼女は一人の男の子を産んだ。

E. 神聖なロマンスは、雅歌において描写されています:**雅1:2** 彼の口の口づけをもって、私に口づけしてください! あなたの愛はぶどう酒にまさるのです。**1.** 雅歌は詩的な体裁における、すばらしく生き生きとした描写であって、花婿としてのキリストと彼の花嫁としての愛する者が、彼の神聖な属性と彼を愛する者の人性の美德とのミングリングの中で、相互に享受する新婚の愛を描写しています。

雅1:15 「見よ、わが愛する者よ、あなたは美しい! 見よ、あなたは美しい! あなたの目ははとのようだ」。

16 「見よ、わが愛する方、まことに、あなたは美しく、私の喜びです! まことに、私たちの寝いすは新鮮な緑です。

2. 雅歌によれば、私たちと主との関係はとてもロマンチックであるべきです。もし私たちと主イエスとの間に何のロマンスもなければ、私たちは宗教的なクリスチャンであって、ロマンチックなクリスチャンではありません。

F. 主イエスは来た時、花嫁のための花婿として来ました:**ヨハネ3:29** 花婿を持つ者は花婿である。花婿の友は立って花婿の声を聞き、その声のゆえに喜び歓喜する。こうして、私はこの喜びに満たされている。 **【火】**

1. 主イエスは召会を再生し、召会が彼の花嫁となるようにします。**2.** 私たちは再生を通して、別の命、すなわち神聖な命を受けます。この命の中で、この命によって、私たちは資格づけられてキリストの配偶者となり、彼に符合するようになります。

G. この時代の終わりに、キリストは来て彼の贖われた者と結婚し、彼女を彼の妻とします:**1.** キリストは彼の婚姻の日に、長年にわたって神の敵に対して戦ってきた者たちと結婚します。すなわち、キリストは、邪悪な者にすでに勝利を得た勝利者と結婚します。**2.** 栄光の婚姻の日があるようになります。その時キリストは、彼の贖われた人たちと結婚します。**3.** 新天新地において、新エルサレムは小羊の妻となり、永遠に至ります。これは聖書に啓示されている神聖なロマンスの完成です。

啓19:7-8 私たちは喜び歓喜し、彼に栄光を帰そう。小羊の婚姻の時が来て、彼の妻は用意を整えたからである。彼女は輝く清い細糸の亜麻布の衣を着ることを許された。その細糸の亜麻布の衣は、聖徒たちの義である。**啓22:17** その霊と花嫁が言う、「来たりませ!」。聞く者も「来たりませ!」と言いなさい。渴いている者は来たれ。欲しい者は、命の水を値なしに飲むがよい」。

II. キリストの花嫁としての召会は、戦士ともなって、神の敵を打ち破らなければなりません: **【水】**

A. 霊的な戦いは、からだの事柄です。私たちは団体の軍隊であって、神の地上の権益のために戦います:

II テモテ2:4 兵士として服務している者はだれも、日常生活の事にかかわってはなりません。それは、徴兵した者を喜ばせるためです。

B. キリストは戦う将軍として、彼の軍隊である彼の花嫁と共に来て、ハルマゲドンで反キリストと戦います:

啓19:19 私はまた、獣と地の王たちと彼らの軍勢とが結集して、馬に乗る方と彼の軍勢と戦うのを見た。

20 そして獣は捕らえられた。また彼の前でしるしを行ない、それによって、獣の印を受けた者や彼の像を拝んだ者を欺いた偽預言者も、捕らえられた。この二人は生きてまま、硫黄で燃える火の池の中へと投げ込まれた。**21** 残りの者たちは、馬に乗る方の口から突き出した剣で殺された。そしてすべての鳥は、彼らの肉で満腹した。

1. キリストは彼の軍隊と共に来る時、人の子として来ます。**2.** 彼は人の子として、彼に符合し彼を完全にする配偶者を必要とします。この配偶者が彼の花嫁となります。

3. 婚宴の礼服は、私たちの日ごとの義として私たちから生かし出されたキリストです。これにより、私たちは婚宴に参加する資格を持つだけでなく、また軍隊に加わる資格をも持って、ハルマゲドンの戦いにおいて、キリストと共に反キリストと戦います。**マタイ22:11** しかし、王が入って来て、食卓に着いている人たちを見ると、そこに婚宴の礼服を着ていない人を見たので、**12** 彼に言った、

『友よ、なぜあなたは、婚宴の礼服を着ないで、ここに
入って来たのですか？』彼は返事ができなかった。

C. 私たちが雅歌において見るのは、勝利を得た、キリストを愛する者が、神と一になって神の住まいとなると、神の目に美しいことテルザのようであり、愛すべきことエルサレムのようであるが、敵にとっては、恐ろしいこと旗印を持った軍隊のようであるということです：

雅6:4 「わが愛する者よ、あなたは美しいことテルザのよう、愛すべきことエルサレムのよう、恐ろしいこと旗印を持った軍隊のようである。10 夜明けの光のように見え、月のように美しく、太陽のように明るく、旗印を持った軍隊のように恐ろしいものはだれか？」。1. キリストを愛する者は、愛らしくあるべきであり、またそれと同時に恐ろしくあるべきです。しかしながら、多くの信者は主の御前で彼の愛らしさと敵の前での彼の恐ろしさを失ってしまいました：**a.** キリストを愛する者は、主の御前で美しく、麗しく、天の都のように堅固であって、また聖なる所のように平穏です。それと同時に、彼女は自分の勝利の栄光を、敵とこの世の前で展覽します。【木】

b. 勝利を得た、キリストを愛する者は、望みに満ちている将来と絶対的に天的な生活を持っているだけではなく、彼女の勝利の中で絶えず勝ち誇る勝利者でもあります。

2. 恐ろしい軍隊は、主の勝利者が神の敵サタンを恐れさせることを表徴します：**a.** 敵は、神の都として建造された召会を恐れます。**ネヘミヤ6:15** こうして、城壁はエルルの月の二十五日に、五十二日間完成した。16 私たちの敵がみなそれを聞いたとき、私たちの周りにいる諸国民はみな恐れ、大いに面目を失った。この工事が、私たちの神によって行なわれたことを知ったからである。

b. サタンは、個人主義的なクリスチャンが何千何万になっても恐れませんが、キリストのからだとしての召会、すなわち、サタンと彼の王国に敵対して戦う団体の戦士を恐れます。**エペソ6:11** 神のすべての武具を身に着きなさい。悪魔の策略に敵対して立つことができるためです。

D. ダビデは、苦難のただ中で戦うキリストを予表します。アビガイルは、苦難のただ中で戦う召会を予表します：

1. サムエル記上25章からアビガイルはいつも戦士ダビデのそばにおり、彼の戦いにおいて彼に従いました：(本には抜けています) **a.** アビガイルがダビデと結婚したことは、戦いのために軍隊に加わった召会を予表します。

b. アビガイルは、神の王国のために苦難のただ中で戦う召会を予表します。2. アビガイルの予表が描写しているのは、召会が主イエスと共に霊的戦いに加わるということです：**a.** 神の永遠の定められた御旨が成就されて、彼の心の願いが満たされなければならないだけでなく、神の敵が打ち破られなければならないからです。召会はこのために戦士でなければならないからです。**b.** 霊的な戦いが必要とされるのは、サタンの意志が神の意志に敵対しているからです。

マタイ6:10 あなたの王国が来ますように。あなたのみこころが天で行なわれているように、地でも行なわれますように。**イザヤ14:13** おまえ(サタン)は心の中で言った、『私は天に昇ろう。私は神の星の上に、私の座を高く上げよう。私は北の果てにある集会の山に座ろう。14 私は雲の高い所の上に昇ろう。私はいと高き方のようになる。』

1) 霊的な戦いは、神聖な意志とサタンの意志との衝突をその源としています。2) 召会として、私たちの戦いはサタンの意志を服従させ、神の敵を打ち破ることです。

啓12:11 兄弟たちは、小羊の血のゆえに、また彼らの証しの言のゆえに、彼に打ち勝った。彼らは死に至るまでも自分の魂の命を愛さなかった。**c.** 霊的な戦いの目的は、

神の王国をもたらすことです。**啓12:10** また私は、天で大きな声がこう言うのを聞いた、「今、私たちの神の救いと力と王国と、彼のキリストの権威とが来た。私たちの兄弟たちを訴える者、昼も夜も私たちの神の御前に彼らを訴える者が、投げ落とされたからである。【金】

Ⅲ. 民数記5:11から31の疑いねたむ夫が妻を対処することが予表するのは、信者たちと召会に対するキリストのねたみです：民数記5:29 これは、妻が夫の下にいる間、道をそれて自らを汚し、30 疑いねたみの霊が人に臨んで自分の妻を疑いねたむ時の、疑いねたみの規則である。その人はその女をエホバの御前に立たせなければならない。そして祭司は彼女にこの規則のすべてを適用しなければならない。

A. キリストの戦う軍隊は、勝利者、すなわち、キリストに符合する戦う妻から成っています：1. 私たちは主の戦う軍隊の一部分となるために、彼に対して清純でなければなりません。**Ⅱコリント11:2** 私は神のねたみをもって、あなたがたをねたんでいます。なぜなら、あなたがたを清純な処女としてキリストにささげるために、一人の夫に婚約させたからです。2. 私たちがキリスト以外のものを求めて、追い求めることは、神の目に霊的な淫行です。3. 霊的な淫行を犯す者は神によって裁かれ、のろわれて、神のために戦い、神に仕えることができなくなります。

B. ねたみは通常、消極的なものと考えられますが、それは神の属性のうちの一つです：1. 神のねたみは、妻に対する夫のねたみのようです。2. 宇宙で最もねたむ者は神です。彼の御名は、ねたみです：**出34:14** あなたは他の神を拜んではならない。エホバは、その名がねたみであって、ねたむ神だからである。**a.** 神は、私たちが彼だけを、単一に、完全に愛することを願っています。**マルコ12:30** 心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、主であるあなたの神を愛しなさい。b. 私たちが何かを愛し、まただれかを愛して、神を愛さないときはいつでも、神はねたみます。3. 神はねたむ夫として、私たちが彼に仕え、また彼だけに仕えることを願っています。**マタイ6:24** だれも二人の主人に仕えることはできない。なぜなら、人は一方を憎んで他方を愛し、一方に密着して他方を軽んじるからである。あなたがたは、神とマモンとに仕えることはできない。4. 私たちは私たちの神がねたむことを認識しているので、彼のねたみを私たちのものとならせるべきです。それは、私たちが彼だけを顧慮し、だれも、また何もかも彼と置き換えることがないためです。

C. 「愛は死のように強く、ねたみはシェオール[陰府]のように残酷だからです。そのきらめきは火のきらめき、エホバの炎です(雅8:6)」：1. 主を追い求める者はすべて、彼の愛によって捕らえられてきました。愛は死のように強いのです。2. この愛とこのねたみには、きらめく火があります。これら二つのものは、すなわち、焼き尽くす神とねたむ神(焼き尽くす火とねたみ)は、共に存在します。3. 時の初めから、神はねたむ神でした：

a. 何も神のねたみに抵抗することはできません。彼は彼の敵をみな滅ぼします。**b.** 神はすべての妨げを取り除いて、ついには唯一の主、すべての者の神、無敵の王となります。4. パウロがコリントの聖徒たちに告げたのは、彼が神のねたみをもって、彼らをねたんでいるということと、彼らを清純な処女としてキリストにささげるために、一人の夫に婚約させたということでした。【土】

(アウトラインの真理の理解を深めるために、多くの御言葉を追記しています。黄色でハイライトした御言葉を祈り読みしてください。「高い福音」の記載はありません。)

Crucial Point①:新婚の愛をもって、主を愛する

OL1: 神聖なロマンスは、雅歌において描写されています。雅歌は詩的な体裁における、すばらしく生き生きとした描写であって、花婿としてのキリストと彼の花嫁としての愛する者が、相互に享受する新婚の愛を描写しています。

雅 1:2 彼の口の口づけをもって、私に口づけしてください！ あなたの愛はぶどう酒にまさるのです。

OL2: 雅歌によれば、私たちと主との関係はとてモロマンチックであるべきです。もし私たちと主イエスとの間に何のロマンスもなければ、私たちは宗教的なクリスチャンであって、ロマンチックなクリスチャンではありません。

神と彼の民が一になるためには、両者の間に相互の愛がなければなりません。聖書で明らかにされている神と彼の民の間の愛は、おもに男と女の愛情深い愛のようです。神の民が神を愛し、時間を費やして彼の言葉の中で彼と交わるとき、神は彼らに彼の神聖な要素を注入し、彼らを彼の配偶者として彼と一にし、命、性質、表現において彼であるのと同じにします。

聖書全体は、神聖なロマンス、神がどのようにして彼の選ばれた人に求愛して、最終的に彼らと結婚するかについての記録です。私たちは神の民として神との愛の関係に入るとき、彼の命を受けます。それは、エバがアダムの命を受けたようにです。この命が、私たちが神と一になり、彼が私たちと一になることができるようにするのです。

旧約聖書は、神が入って来てイスラエルを選び、彼の配偶者とされたことを明らかに示しています。エレミヤ 31:3 でエホバは言われました、「まことに、私は永遠の愛をもってあなたを愛した。それゆえ、私はあなたを、慈愛をもって引き寄せてきた」。神は彼の民に現れたとき、彼らと「デート」し、後に彼らに求婚さえされました。エゼキエル書 16 章によれば、神は荒野でイスラエルを見たとき、彼女を愛されました。8 節はこの愛を記述しています。「そして、私はあなたのそばを通してあなたを見た。すると見よ、あなたの時はまさに愛の時であった。私は自分のすそをあなたの上に広げ、あなたの裸を覆い、あなたに誓って、あなたとの契約の中に入ったと、主エホバは告げられる。そして、あなたは私のものとなった」。神はイスラエルとの契約の中へと入ることによって、彼女をご自身に婚約させました。

中高生(小学高学年を含む)/大学生編

A. あなたの愛の中に、神の愛を受け入れる必要がある: 神は愛であり、人にも愛があります。人の愛は神の愛に従って創造されました。人の愛は手袋に例えることができます。神の愛は手であり、人の愛は手袋です。人の愛は愛の形はありますが、それ自体には十分な力がありません。あなたが両親やクラスメイトを愛することは良いのですが、神の愛をあなたの愛の中に入れなければ、あなたの愛は正常に機能し、強くなることはできません。主の御名を呼んで、あなたの愛に神の愛を入れてください。

そうすれば、あなたの感情は、愛すべきもの(聖書を読むこと、勉強に勤勉であること、苦難の中の人を愛し、祈り、福音を伝えることなど)を愛し、愛すべきでないもの(嘘をつくこと、ごまかすこと、怠けること、自分さえよければそれで良いと考えることなど)を愛さないようになります。更にあなたが愛する時、その愛は忍耐をもって愛し続けることができます。またあなたが普段愛するこ

とができる人でも、急に愛せなくなったり、憎んでしまい赦せなくなったりするのは、手袋(あなたの愛)に手(神の愛)を入れていないからです。神をあなたの中に入れて必要があります。

ヨハネ 3:16 神はそのひとり子を賜わったほどに、世の人を愛された。それは、彼の中へと信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を持つためである。

エペソ 6:2 「あなたの父と母を敬いなさい」。これは約束を伴っている最初の戒めです。

3 「それはあなたが幸いになり、またあなたが地上で長生きするためである」。

祈り: 「主イエスよ、私は手袋であり、あなたは手です。あなたの愛を私の愛の中に受け入れます。あなたと共にクラスメイトに関心を持ち、愛し、福音を伝えることができますように。また、主の愛をもって、両親を敬い、愛します。そうすれば、私が神によって祝福されて、幸福と長寿にあずかることができます。アーメン！」

B. 神の愛に触れてから、神の愛をもって神を愛し、人を愛する: Ⅰヨハネ 4:19 私たちが愛するのは、神がまず私たちを愛してくださったからです。

あなたはキリストを享受するために、キリストを愛する必要があります。しかし、あなたは天然の愛によって主を愛することはできません。あなたの天然の愛で主を愛しても、困難に遭うと直ぐに主を捨ててしまいます。そうではなく、あなたはキリストの愛によってキリストを愛するのです。このためにあなたは先ず、自分の霊を活用し、霊なる主に触れるべきです。そうすれば、主の愛に触れて、主の愛をもって、主を愛することができます。

祈り: 「おお主イエスよ、私はあなたを愛します。しかし、私は自分の天然の愛に頼ることはできません。あなたは私を永遠の愛で愛してくださいました。あなたの愛に触れさせてください。それは私が、永遠の愛であなたを愛するためです。ハレルヤ！主を賛美します！」

詩歌補充 401 主イエス！なれに ふれるをしよう！

(中補 403) さらに、さらに、成長させ。

絶えず成長させて、栄光の花咲き人が見るよう、主を表現する

C. 神のあなたに対する愛は夫が妻に対して持っている愛である。あなたは主イエスの婚約者として、純粋に主を愛すべきである: 愛には親子の愛、友情、夫婦の愛などがあります。神の愛は、すべての愛を含んでいますが、神と人との関係で一番重要なのは、夫婦の愛です。

Ⅱコリント 11:2 なぜなら、あなたがたを清純な処女としてキリストにささげるために、一人の夫に婚約させたからです

あなたは、主の婚約者、純粋な若い女性です。主が再来された時に結婚します。新エルサレムはキリストの妻です。花婿を愛する花嫁のように、あなたは純粋に、単一に主を愛するべきです。あなたは主の中で前進し、勝利者になるために、必ず主との夫婦の愛の関係、ロマンスを建て上げてください。主はこの関係の中でのみ、あなたを前進させることができます。主との個人的で、親密で、愛情に満ちた交わりを建て上げることは、あなたにとって死活問題です！

祈り: 「おお主イエスよ、私はあなたを新婚の愛をもって愛します。私は若い時から、主との愛の関係を建て上げます。そして、主との個人的で、親密で、愛情に満ちた交わりを享受します。交わりの中であなたに開き、あなたに触れ、あなたに私の中に入って、私を満たしていただきます。主とのロマンスの中でのみ、私は前進し、勝利者になることができます！」

Crucial Point②:神聖なロマンスにおける、 私たちに對する神のねたみ

OL1: 私たちは主の戦う軍隊の一部分となるために、彼に対して清純でなければなりません。Ⅱコリント 11:2 私は神のねたみをもって、あなたがたをねたんでいます。なぜなら、あなたがたを清純な処女としてキリストにささげるために、一人の夫に婚約させたからです。

OL2: 私たちがキリスト以外のものを求めて、追い求めることは、神の目に靈的な淫行です。靈的な淫行を犯す者は神によって裁かれ、のろわれて、神のために戦い、神に仕えることができなくなります。

OL3: ねたみは通常、消極的なものと考えられますが、それは神の属性のうちの一つです。神のねたみは、妻に対する夫のねたみのようです。宇宙で最もねたむ者は神です。彼の御名は、ねたみです:出34:14 あなたは他の神を拝んではならない。エホバは、その名がねたみであって、ねたむ神だからである。**OL4**: 私たちが何かを愛し、まただれかを愛して、神を愛さないときはいつでも、神はねたみます。

OL5: 「愛は死のように強く、ねたみはシェオール[陰府]のように残酷だからです。そのきらめきは火のきらめき、エホバの炎です(雅 8:6)」。主を追い求める者はすべて、彼の愛によって捕らえられてきました。愛は死のように強いのです。この愛とこのねたみには、きらめく火があります。これら二つのものは、すなわち、焼き尽くす神とねたむ神(焼き尽くす火とねたみ)は、共に存在します。何も神のねたみに抵抗することはできません。彼は彼の敵をみな滅ぼします。

疑いねたむ夫が妻を対処することは、信者と召会に対するキリストのねたみを予表します。…私たちが反逆的(らい病)ではなく、十分に自制し抑制されており(漏出がない)、振る舞いが神と人に対して完全に正しいかもしれませんが、キリストの妻として、私たちは清純でしょうか?…もし妻が他のいかなる男も評価するなら、彼女は清純を失う寸前です。啓示録で、キリストの戦う軍隊は、勝利者、すなわち、キリストに符合する戦う妻から成っています。主の戦う軍隊の一部分となるために、私たちは純潔でなければなりません。民数記における対処は、神の民が軍隊へと編成されるための要求がとても高いことを見せています。

召会とすべての信者は、キリストだけを彼らの愛として持つべきです。もし召会やどの信者もキリスト以外のものを求めて、追い求めるなら、それは神の目に靈的な淫行です。靈的な姦淫を犯す者は神によって裁かれ、のろわれて、神のために戦い、神に仕えることができなくなります。

ねたみは通常、消極的なものと考えられますが、それは神の属性のうちの一つです。宇宙で最もねたむ者は神です。私たちが何かを愛し、まただれかを愛して、神を愛さないときはいつも、神はねたみます。神は、私たちが彼だけを、単一に、完全に愛することを願っておられます。神のねたみは、妻に対する夫のねたみのようです。どの夫も、妻が自分以外の別の男を愛するのを容認することはできません。同じように、神は私たちがねたみます。ですから、ねたみは神の属性のうちの一つです。

私たちは私たちの神がねたむことを認識しているので、彼のねたみを私たちのものとならせるべきです。それは、私たちが彼だけを顧慮し、彼を愛して、だれも、また何ものも私たちの心の中で彼と置き換えることがないためです。さらに、彼に対する私たちの愛は純粹で、私たちの思いは単一で、私たちの全存在は彼に焦点づけられているべきです。

在職青年/大学院生編

A 聖書の中で「ねたみ」には、墮落した「ねたみ」と神聖な「ねたみ」がある:ガラテヤ 5:21の「ねたみ」は肉の働きです。

ガラテヤ 5:19 さて、肉の働きは明白です。すなわち、淫行、汚れ、好色、20 偶像礼拝、まじない、敵意、争い、しつと、怒りの爆発、党派心、分裂、分派、21 ねたみ、泥酔、宴楽、そのような類の事柄です。それらについて、わたしは前にも言っておいたように、今もあらかじめ言うておきます。そのような事を行なう者は、神の王国を継ぐことはありません。

しかし、Ⅱコリント 11:2 や出エジプト記 20:5 の「ねたみ」は神聖なロマンスにおける神聖な「ねたみ」です。

出 20:4 あなたは自分のために偶像を造ってはならない。上は天にあるもの、下は地にあるもの、地の下の水の中にあるものの、どのような形をも造ってはならない。5 それらにひれ伏してはならない。それらに仕えてはならない。私はエホバ・あなたの神であり、ねたむ神であって、私を憎む者には、父の罪科を子に報いて三、四代に及ぼすが、6 私を愛し、私の戒めを守る者には、慈愛を千代にまで施すからである。

この神聖な「ねたみ」は、忙しい青年在職者、研究者であるあなたに、四方から押し迫るキリストの愛です。それは、あなたが自分自身に生きず、キリストと一つになり、キリストに生きるように押し迫り、導きます。

Ⅱコリント 5:14 なぜなら、キリストの愛が私たちに押し迫っているからです。そこでこう判断しました。ひとりの方がすべての人のために死なれたからには、すべての人が死んだのです。15 そして、彼がすべてのために死なれたのは、生きている者が、もはや自分自身ではなく、彼らのために死んで復活させられた方に生きるためです。

FN15 節「キリストに生きる」:キリストに生きるとはキリストのために生きることより深い意義があります。主のために生きるとは、私と主が、なおも二つであることを暗示します。しかし、主に生きるとは、私とキリストが一つであることを示します。これは結婚生活で、妻が夫と一つとなることと同じです。

B この愛とこのねたみには、きらめく火がある。焼き尽くす神とねたむ神(焼き尽くす火とねたみ)は、共に存在する。何も神のねたみに抵抗することはできない。彼は彼の敵をみな滅ぼす:以下の愛の詩歌を歌って、あなたの内側の愛の炎を燃え立たせましょう!

169 主を賛美する — 彼に満足する(英 208)

1. イエスはわがいのち、 なが愛の一ゆえ、
ひと日に一せんかい、 御名をさ一けばん。
(復)イエス、さい愛の主にくらぶるものなし;
なれのえがお見て、 われよろ一こばん。
2. いかに愛すべきか、 われ知ら一ねど、
火のごと一きあいは ころろ燃一やす。
4. 燃えるあいの火は にち夜つ一のり、
他のあい一すべてを 焼き尽く一しぬ。

1. O Jesus, Jesus, dearest Lord! Forgive me if say,
For very love, Thy sacred name A Thousand times a day
(C) O Jesus, Lord, with me abide; I rest in Thee, whate'er betide;
Thy gracious smile is my reward; I love, I love Thee, Lord!
2. I love Thee so I know not how My transports to control;
Thy love is like a burning fire Within my very soul.
4. Burn, burn, O love, within my heart, Burn fiercely night and day,
Till all the dross of earthly loves Is burned, and burned away.

祈り:「おお主イエスよ、あなたは愛の中で私を婚約者、配偶者として選んでくださいました。このことで、なぜ私のような者をあなたが選ばれたのか、と不思議に思います。しかし、主を賛美します。あなたは私を選び、私を励まし、造り変えています。あなたの愛とねたみの火が、私の内側の消極的なものをすべて焼き尽くしてください。私を成就してあなたの花嫁・軍隊の一部分にしてください!アーメン!」